

藤本ひろしの市議会報告

日本共産党市議団のホームページ
http://ww5f.biglobe.ne.jp/~iwakuni/

NO 5

2004.7.30

発行

日本共産党岩国市委員会
岩国市山手町4-3-5(電話 22-2245)

市会議員 藤本博司

岩国市麻里布町1-8-27

電話 FAX : 22-3009

参議院選挙でのご支援

ありがとうございますございました

7月11日投票で行われた参院選挙は、年金、イラク、消費税、憲法改正、雇用などを争点としてたかかわりました。

日本共産党は3年前の得票を維持しましたが、6年前の改選議席15議席から4議席へと大幅に議席を後退させ

ました。

厳しい情勢の中で日本共産党へ寄せられた市民のみなさんのご支援にお礼申し上げます。公約実現に努め、捲土重来がんばりますので今後ともよろしくお願い申し上げます。 04年7月 日本共産党岩国市委員会

参議院選挙のための議会報告が遅くなりましたして大変申し訳ございませんでした。遅ればせながらNO5号をお届けします。ご覧ください。

補正予算ゼロの6月議会

04年6月議会は厳しい財政状況を反映して補正予算ゼロの議会となりました。

市長の退職金

350万円引き下げ

市長など特別職の退職金を約12%引き下げました。その結果市長は3千10万円が2663万円になりました。4年の任期ごとに清算されます。

特別職の退職金(単位・千円)

役職	現行	改正後
市長	30108	26634
助役	16916	14997
収入役	10522	9305
教育長	10522	9305
水道局長	10445	9237
交通局長	10445	9237
常勤監査委	4800	4248

市営住宅の入居者選定方法を見直し

現在の市営住宅入居方法は、その都度申し込みをし、空きが出れば順番を待つて入居する方法でした。

これが今度の改定で「4回の公募抽選方式」になりました。

高齢者、障害者については新たに枠を設け、ここで一回抽選に参加し、外れた場合でも一般枠でもう一度抽選に参加できるようにします。

これは、高齢者、障害者などが有利となるように、県の制度に合わせて改正されたものです。



01年(平成13年)以前の申込者は一度だけ優先枠が設けられます。しかし現在順番待ちの希望者は200人近くに上り、公営住宅不足の解消には程遠い状況です。新しい市営住宅建設が必要

指定管理者を選定

旧西岩国駅をJRから譲り受け改修して「ふれあい交流館西岩国」としてリニューアルして西岩国地域の住民の交流・展示・情報発信の事業を行うものです。

この事業を行う指定管理者をNPO法人西岩国・駅と広域まちづくりの会(江本彦士代表)に選定しました。

解説

重要な問題となる指定管理者制度

昨年の国会で地方自治法の改正が行われ、公の施設を民間団体に管理運営を任せることが出来るようになりました。

保育所、ごみ処理施設、体育館、公民館、図書館、市民会館、公園などの管理運営を「指定管理者」に定めた民間団体にゆだねることが出来るようになります。公的サービスの放棄にならないよう監視が重要です。

旧西岩国駅(ふれあい交流館西岩国)

合併問題

六月議会で 質問しました

藤本議員は3月議会でも、今回の平成の大合併が国の都合による押し付け合併で、行政面積の広大さや岩国市への財政負担になる立場から、市民にとってメリットはひとつもないことを主張しました。
6月議会でもさらに5点について質問しました。

新市計画の重点施策 は箱物建設ばかり

7市町村が合併してどんな「街づくり」をするのか、まったく議論されていません。

新市建設に当たって各市町村が掲げている重点施策(表)をみてくださ

自治体名	新市の主要施策
岩国市	民間空港の整備促進 新庁舎建設 幹線道路整備
由宇町	総合運動公園 公共下水道
本郷村	総合支所 スポーツ広場
周東町	農林公園 総合支所
錦町	総合支所 道路整備
美川町	総合支所 農業集落排水
美和町	公共下水道 簡易水道

市庁舎建設が岩国市を筆頭に本郷、周東、錦、美川、運動公園、農林公園を由宇、本郷、周東などがあげています。

まるで高度成長時代の箱物行政を思わせるものとなつています。

その一方で錦町や本郷村など過疎に悩む町村が人口定住対策

として設けていた、転入奨励金や結婚祝い金などは何のためらいもなくばつさり削除されています。

ここに合併が住民の福祉や暮らしを重点にした「住民こそ主人公」とはかけ離れたものとなつている事の姿があるのではないのでしょうか。

総合政策部長は「新市が実施計画を組んで実行していく、合併の理念と具体的な問題を一緒にしては答弁が難しい」と

予定大狂い —周南市—

隣の周南市は合併二年目で合併時の計画と交付税が37億円も少ない額になつて困っています。

さらに予算額も合併初年度が660億円であったものが二年目の今年04年度予算は595億円となんと65億円もすくない予算と



なつていきます。これは「三位一体改革」による国の

地方への予算の削減の影響ですが、岩国市の財政シミュレーションは国からの削減額を少なめに計算している(臨時財政対策額の削減は見込んでいるが普通交付税は毎年同額を見込んでいる)交付税も減額されるよう見込んでおくことが必要。答弁 特別要因のあるものについても見込んである。

岩国市は昭和の大合併 以後10年間赤字財政 — 今度もこうなる 危険性大 —

1955年(昭和30年)小瀬、藤河、御庄、北河内、南河内、師木野、通津の7村を吸収合併しました。

その後10年間にわたつて市財政の赤字が続きました。

合併協試算によると、「もし合併しなかった場合の20年間の財政シミュレーションで岩国市18億円の赤字、岩国を除く6町村の財政赤字が205億円も出る」と見込んでいます。これは見方を変えれば、現在の行政水準を維持すれば205億円も町村で赤字が出る、これを岩国市民が面倒を見るか、それとも205億円の行政サービスを切り捨てるかという問題でもあり納得できません。

住民説明会について

住民説明会は「市民が合併の可否が判断できるようなメリット、デメリットを示して行え」と求めましたが、新市建設計画をスライドで説明するとの答弁にとどまりました。

藤本ひろしの一般質問から
粗大ごみ収集有料化にもなる排出量激減について問う

粗大ごみ収集が02年(平成14年度)から有料化されました。

収集方式が変わり事前に市役所へ電話して住所、氏名などを申告し、「粗大ごみ収集券」を購入して、決められた日に自宅前に排出するようになりました。

年度	粗大ごみ合計	その内資源化分
98年	990 トン	0 トン
99年	1145 トン	737 トン
00年	1586 トン	1000 トン
01年	1429 トン	765 トン
02年	82 トン	56 トン
03年	138 トン	118 トン

有料化して排出量が激減したがなぜか、(左表・下線)今後の対策はどうか?

答弁 収集量は大幅に減少している、以前のよう自治会の方の手をわずらわせることもなく利便性も向上している面もある。

また、排出が困難な高齢者等は、立会い者の下で、職員が家に入って持ち出す対応もしている。

○ 出し控えがあるのでは

有料化したことが収集量の激減につながっているのではないか相当の出し控えがあると思われるがどう思うか。

答弁 減量が一番大きな原因は、家電リサイクル



法に基づいて冷蔵庫、洗濯機、テレビ、エアコン等の重量物が市のほうへ入らなくなったことが考えられる。

ペットボトルの収集を

資源ごみの日にも出来ないか

ペットボトルの収集は現在スーパー、学校などに回収箱を設置してこへ市が収集に回るといふ拠点回収方式で毎年回収量を増大させて成果を挙げている。これを現在の拠点方式に加えて資源ごみの日にも合わせて収集できるように出来ないか

○ 大型ごみの不法投棄が増えているといわれているが

答弁 不法投棄については県のほうからパトローल関係の併任辞令も受けて対応していきたい。

○ 自治会が以前のよう一箇所に収集した場合対応するか

答弁 有料の粗大ごみシールが貼ってあれば対応する。自治会で一箇所

に集めた場合、リサイクルセンターに直接搬入すれば、重量に対する金額で対応できる。

粗大ごみ収集についてインターネットを取り入れた収集方法もあるが

答弁 広島や下関などが行っているが収集量の推移を見て市民の利便性を模索していきたい。

プラスチック系

ごみと混在すると資源化できないとの事であるが、混在しないよう別の袋に入れるようにするとか工夫してさらに資源化率を高めることが必要だと思いが、また、収集拠点を増やしていくことは検討されるのか。

答弁 収集拠点についてはお願いでできるところがあれば検討してみたい。



さらに空母艦載機部隊が移転すれば、日常的にNLPが行われ岩国市民の平穏な生活が破壊される」と強調し、「日本で一番騒音がひどい町になる。移転計画に反対

日米両政府が、米軍厚木基地（神奈川県）の空母艦載機部隊と夜間着艦訓練（NLP）を岩国基地に移転する方向で検討していることが明らかになりました。久米さんは「岩国市民は米軍基地があるために騒音や犯罪に悩まされてきた。」

米空母艦載機の移転に反対

(前山口県議)

久米けいすけのペーパー



する運動を大きく広げて行こう」と呼びかけました。厚木基地にはFAホーネット

ト戦闘攻撃機など約70機が配備され、周辺の騒音は国内最悪の水準とされています。

合併説明会に参加して

久米けいすけ

6月30日開かれた岩国市主催の住民合併説明会に参加しました。私はこの間広域合併については、在任特例か定数特例かの議員身分ばかりがクローズアップされていって、本当



に大切な将来の街づくりが合併協で住民の視点から論議されているのか疑問に思っていました。私も何点が質問させてもらいました。将来の都市づくりの基本をつくる「新都市建設計画」については、市長は十分に論議したと答えたのですが、市議会

よく住民の意見を聞き、問題点を民主的に論議するところから一致した解決が生まれると思います。



久米けいすけ

前県会議員

なんでもご相談ください

岩国市麻里布町
7-7-9
電話：22-7105

議長はまったく不十分と見解を述べました。財政計画は特別会計への不足補填が当初計画64億円が20年後には89億円にふくれあがるとされています。本来将来のまちづくりに責任を持つ議論がされてきたのでしょうか。議員の身分についてはルールにのっとった手続きが必要です。一度正式に決まったことを頭から反対というのはどうでしょうか。